

ヨコグラノキ	<i>Berchemiella berchemiifolia</i> (Makino) Nakai	絶滅危惧 I 類
		クロウメモドキ科
選定理由	既知のすべての生育地で生育条件が著しく悪化しており、個体数が危機的水準まで減少している。	<p>写真(須賀瑛文)</p> 
形態の特徴	落葉小高木。葉は互生し、披針状長楕円形で鋭尖頭、長さ6-13cm。全縁で裏面は粉白色を帯びる。花は枝の上部の葉腋に小さな集散花序につき、枝先では葉がなくなって、長さ5cmほどの短い穂状につく。	
生態的特徴	山地の溪谷斜面に見られる。花期は6月。	
分布状況	日本固有種で、本州、四国、九州に分布する。岐阜県においては県北の北部、及び県南東部に見られる。	
減少要因	生育環境である落葉広葉樹林の伐採や、岩場の崩壊。	
保全対策	現状の生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	「日本の野生植物 木本Ⅱ」(佐竹義輔ほか(編), 1989年)	

文責: 奥田浩之